



「諦めない」って、大事。

12月になると、毎年思い出すことがある。2年前、年末年始を台湾で過ごしてみようと思立ち、計画を立てた。旅行代金も支払い、あとは行くだけだった。でも、行けなかった。台湾の航空会社が破産して、福島空港発のチャーター便がキャンセルされたのだ。本当にかっかりした。本っっ当にかっかりして、しばらくは語尾が「台湾」になった。旦那に苦笑いされた。来年は絶対に行こうねと話していたが、また行けなくなった。新型コロナウイルスの存在が、その1か月後くらいに明らかになったのだ。それからもう2年経つのかと思うと、月日というのは早いものだなと感じる。

さて、この2021年、いろんなことがあった。学校内の出来事としては、やはり修学旅行が一番思い出深い。本当に楽しかったし、本当に行けてよかった。旅行体験記を読むたびそう思う。みんなの体験記にも「楽しかった」「また行きたい」という言葉がたくさんあって、見るたびに嬉しくなる。

社会の出来事としては、東京オリンピックが印象に残っている。もともとスポーツを見るのが好きなので、ほとんど見ていた。卓球混合ダブルスの準々決勝と決勝は感動した。ものすごい試合だった。フェンシングも家で叫びながら見ていた。

何より感動したのが、野球の金メダルである。東京五輪初戦のドミニカ対日本のチケットはあったが、無観客になって見られなかった。初戦のドミニカ戦のサヨナラ勝ちといい、予選のアメリカ戦のタイブレークといい、しびれる試合ばかりだった。ベンチの雰囲気もとても良く、ヤクルトの村上選手がすごく頑張っていた。ついこの間、東京五輪に向けて選手や監督がどのような準備をしてきたのかという内容のドキュメンタリー番組が放送されていた。投手の相次ぐ離脱や負傷者が出る中で、いかに金メダルだけを目指して選手や監督、スタッフが諦めずに戦っていたかを知り、また感動がよみがえった。

野球といえば、「今年の」日本シリーズは最高に素晴らしい試合ばかりだった（一応巨人ファンです）。連日の好投にシーズンゲーム、ヤクルトからもオリックスからも「絶対に負けない」という気迫が感じられた。特に最高だったのは、第5戦目である。ヤクルトにとっては高津監督の誕生日に本拠地で日本一を飾れるかという試合、オリックスにとっては負けたら終わりという試合である。オリックスが3点リードで迎えた8回裏、ここまで点差が開いたのはシリーズ初だったので、このままオリックスが勝つのかと思って見ていた時だった。山田哲人の3ランで同点になったシーンは思わず笑ってしまった。さすが山田哲人である（オリンピックの時も頼もしかった。韓国戦の、もう少しで満塁ホームランの2ベースヒットもしびれた）。9回表のオリックスの攻撃、代打のジョーンズのソロホームランが決勝点であったが、これも鮮烈な一振りだった。

一試合ずつ語っているとキリがないのもうやめますが、今年は多くのスポーツを見る機会があり、「諦めないって大事だな」と心の底から思った1年であった。みんなの2021年はどんな1年だっただろうか。良い1年になりましたか？

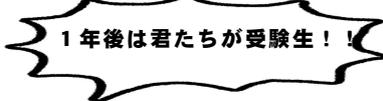
来年は高校生活最後の年である。最高の1年にできるように、すべきことをしよう。

(2組担任 鶴川さくら)



の行事予定 3年0学期スタート!!!!!!

- 11日(火) 3学期始業式、課題テスト
- 13日(木) 馬城会主催講演会(4組のみ7校時)
- 15日(土)～16日(日)
大学入学共通テスト
- 15日(土) 進研模試(全員)
- 22日(土) 第3回英語検定
- 29日(土) 全統模試(希望者) ※予告 2/5(土)早期対策模試(全員)



1月11日(火)の時程

- 1: 始業式(体育館)
 - 2: 大掃除
服装頭髪検査
 - 3: LHR
 - 4: 課題確認テスト(英)
 - 5: 課題確認テスト(数)
 - 6: 課題確認テスト(国)
- 通常清掃

有意義な冬休みを
過ごしてね!!!!

2学年NEWS!



修学旅行記が完成!!

修学旅行から2ヶ月が経とうとしています。先日、皆さんの旅行記をまとめたものが完成しました。各クラス1部ずつ配付されているので、ぜひ互いの旅行記を読んでください。表紙は、2年3組羽根田旬くんの独創的な作品となっています。

河合塾特別講義がありました

12月5日(日)に進路行事として河合塾から講師の先生をお招きし、英語と数学の特別講義がありました。2学年で大学入試を真剣に考えている生徒約80名が参加しました。真剣に取り組む姿から、受験生になる心構えができはじめてるように感じました。今回の講義をきっかけにして、受験勉強に励んで欲しいと思います。



志願理由書の書き方講座が始まりました

来年の受験に向けて、LHRを使って志願理由書の書き方講座がスタートしました。いざ書かなければならないというときに、何を書いたら良いのかわからなくてあたふたと焦らないように、書くための材料は集められるだけ集めておきましょう。3月には一度、実際に書いてもらい添削をします。

こっそりとプリント置いてあります

社会科教員室前の「だるま」が置いてある机の書類ケースに、現代文・古文・漢文の演習プリントがこっそり入っています。毎週更新します。自学の足しにしてください。先着20名です。

相高ART展が始まります!!

12月22日(水)~27日(月)に第2回相高ART展が開催されます。美術部や出版局などの展示だけでなく、今年は吹奏楽部、演劇部、相馬太鼓部、放送局によるステージ発表も予定されています。以下、詳細を載せますので、文化部の活動の成果をぜひご覧ください。

第2回 相高ART展

展示 ※観覧自由 郷土部 美術部 科学部 出版局 美術授業作品 美術部 出版局

12.22(水) ~ 27(月) 相馬市民ギャラリー (相馬駅前 相馬ビル7階)

吹奏楽部 相馬太鼓部 茶華道部(茶道)

演劇部 放送局

ステージ発表 ※生徒、家族、学校関係者向け

12.26(日) 13:00-相馬太鼓部 13:30-放送局 14:00-吹奏楽部 15:00-茶華道部 (15:15-17:00)

福島県立相馬高等学校

○12月22日(水)~27日(月) 相馬市振興ビル
作品展示(美術部、郷土部、科学部、出版局、美術授業作品)
※入場自由

○12月26日(日) 相馬市民会館 13:00~16:00
ロビーにて作品展示(茶華道部による生け花展示)
ステージ発表(太鼓部、放送局、演劇部、吹奏楽部)
※生徒、保護者、相高教職員、部活動関係者のみ

冬休み中に取り組んでみよう ~定期テストや模擬試験のやり直し~

定期テストや模擬試験で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。冬休み中にじっくりと時間をかけて取り組んでみましょう。必ず力になります。

- ①今までの定期テストや模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ②自己採点をする。この時、「答えがあっていたかどうか」よりも「考え方があっていたかどうか」に注意して採点する。
- ③「考え方がわかっていなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ④「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」原因を探り、「自分のミス癖」を認識して、もう一度問題を解き直す。